

## 合併10周年記念式典を開催 公式キャラクターも初披露



▲合併10周年の喜びと新たな決意を語る天満市長

市は4月29日、合併10周年記念式典を芸術文化センターポポロで開きました。冒頭、天満祥典市長は「市内外に魅力を発信し、元気都市みはらをめざして市民の皆さんと取り組んでいきたい」とあいさつ。功労者表彰では、産業や社会福祉、医療分野などで功績のあった86人を表彰しました。

三原小学校の児童が世界平和を願って描いた絵が披露された後、合併した平成17年3月生まれで西小学校5年の澁谷優太君、沼田東小学校5年の岸田珠璃さんが作文を読み、宇宙研究者と菓子職人をめざす夢を発表しました。市初の公式マスコットキャラクター「やっさだるマン」が考案者の福永智彦さんとともに初登場。福永さんは「縁起が良いだるまとやっさの組み合わせで

三原がハッピーになってほしい」と話しました。やっさだるマンは今後、平成29年に向けて推進中の瀬戸内三原築城450年事業のPRなどで活躍する予定です。

やっさ踊り、やっさ太鼓、宮浦中学校吹奏楽部の演奏も披露され、会場を盛り上げました。



▲市初の公式マスコットキャラクター「やっさだるマン」が披露されました

☎総務広報課  
0848・67・6006

## 大人への入門式を開催

市は4月24日、市内中学校の新1年生約890人を一堂に集め、「大人への入門式」を芸術文化センターポポロで開催しました。中学校入学を機に、大人になる自覚を持って学校生活を送ってもらうのがねらいです。

「夢との出会い」をテーマに宇宙航空研究開発機構名誉教授の的川泰宣さんが講演し、自身が宇宙に興味を持ったきっかけや研究者としてのやりがいを紹介。「夢を持って大人になってほし



▲市内中学校の1年生が参加しました

い」と将来の目標を持って生活することの大切さを伝えました。

音楽や本に親しむことで人生を豊かにしてほしいと、音楽演奏や学校図書館司書による本の紹介や朗読も行なわれました。生徒代表であいさつした第一中学校の河井浩太郎君は、「多くの人々に支えられてこの日を迎えることができました。大人への第一歩として、人や故郷の役に立てるよう努力したい」と決意を語りました。

☎学校教育課  
0848・67・6155

## 佐木島に地域おこし協力隊員が着任

市は先月13日、佐木島(鷺浦町)で活動する地域おこし協力隊員に東郷晶子さんを委嘱し、東郷さんは同日から活動を開始しました。

天満祥典市長から委嘱状を手渡され

た東郷さんは、「これまで海外で地域医療に携わってきた経験を生かしたい。島の人にいろいろ教えてもらいながら、地域の活性化に役立てれば」と意気込みを語り、天満市長も「力を存分に發揮して、佐木島をさらに元気にしてほしい」と激励しました。

東郷さんは委嘱を受ける直前までカンボジアに在住。平成8年からNGO団体や日本大使館の調査員としてカンボジアの復興支援活動に関わったほか、医療機関でサポート業務などを行ってきました。

今後は、市2人目の地域おこし協力隊員として、佐木島の町内会や住民生活動団体に加わり、グリーンツーリズムによる観光交流や誘客活動、地域資源を活用した体験メニューづくり、島を訪れた人へのおもてなし、情報発信などを手掛けていきます。



▲天満市長と笑顔で握手する地域おこし協力隊員の東郷晶子さん

☎地域調整課  
0848・67・6184